

Vol.23

学校に係わる地域対話の取組について

問 学校教育課 学務係 ☎72-2101（内線606・607）
財政課 行革推進係 ☎72-2101（内線168）

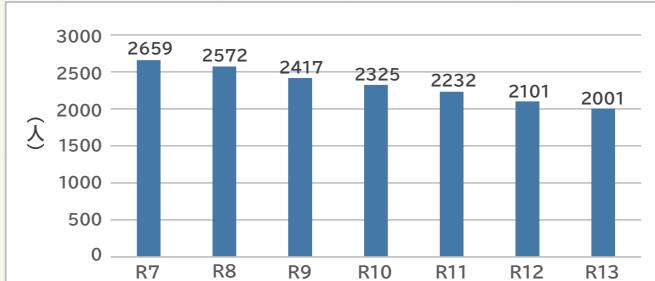
バックナンバー
はこちら！



未来の学校プロジェクトについて

茅野市では全小学校で児童数が減少し、令和13年度には令和7年度と比べて約660人の児童が減る見通しとなっています。子ども達を取り巻く学びの場が変化していく中で、市教育委員会では、持続可能でより魅力ある学校教育の実現を目指して、子ども達のためにどのように教育を充実させ展開させていくのか、市民の皆さんと一緒に考えています。

【市内児童数の推移】



（令和7年10月9日時点の住民登録者を基に市が独自で推計）

地域対話を開催しました

児童数が減少する中、今までの仕組みを保つのか、子ども達にとってよりよい学びの場をどのように築いていくのか、市民の皆さんと小学校の方向性を考える場として「地域対話」を開催しました。

名称	内容	参加者
第1回 保護者対象の地域対話	・小学校児童数の推計について ・学級編成や教員配置の制度について ・今後の進め方	各小学校区 計9回（全137名） アーカイブ視聴：267回
第2回 保護者対象の地域対話	第1回で寄せられた6つのパターン (制度説明・事例紹介・メリットデメリット)	各小学校区 計9回（全61名） アーカイブ視聴：299回
第1回 地域全体の地域対話	・小学校児童数の推移について ・学級編成や教員配置の制度について ・保護者対象の地域対話で寄せられた6つのパターン	各地区 計10回（258名） アーカイブ視聴：466回

地域対話では、様々な観点から未来の学校の事を考えていただきました

地域対話で出た主な意見

- 学校の規模によって学校を選択できる方が良い。
- 茅野市の魅力や特色を活かした学校を残し、選ばれる学校づくりをしたい。
- 地域に根ざした学校なので、まちづくりと一体的に検討したい。
- 9校維持の負担を子ども達に残すことがよいのか検討したい。
- 保護者の参加が少ないので、保護者が議論に参加できる環境を作り、丁寧に検討を進めてほしい。

地域対話の詳しい内容は
ホームページ（QRコード）
をご覧ください



今後の進め方について

これまでの地域対話に加え、さらに幅広く市民の皆さんのお意見を伺うため、市民アンケートを実施する予定です。市民の皆さまの声を大切にし、一つひとつ丁寧に検討を進め、未来につなげていきたいと考えています。

今井市長の想い

少子化に伴う学校再編の課題は全国的に広がっています。学校再編には財政面での課題もありますが、茅野市では、行財政改革の「財」の部分ではなく、子どもたちの教育環境のあり方を見直すという「行」の改革の視点を重視しています。将来的には、すべての小学校で児童が減少し、1学年10人以下になる学校も出てくる見込みです。そこで、まずは子どもたちにとってどのような教育環境が最適かを最優先に考え検討を進めています。将来の茅野市を担う子どもたちのために、市民のみなさんと一緒に「オール茅野」で教育の未来を考えていきたいと思いますので、是非多くのご意見をお聞かせください。